

銀の鈴こども園  
施設関係者評価アンケート 中間報告

令和02年12月09日(水)  
社会福祉法人岳瑛  
銀の鈴こども園

平素はこども園運営にご協力下さり、誠にありがとうございます。先日実施いたしました、施設関係者評価アンケートの分析結果が出来ましたので、報告いたします。

なお一部文書は、行政文書であります。わかりにくい点などありましたら、お気軽にお聞き下さい。

参考までに、法人理念等を以下に抜粋しました。

銀の鈴こども園  
園長 平田明美

参考：【重要事項説明書から】HPにも掲載しています。

法人名「岳瑛（がくえい）」にこめた想い

岳・・・かたくてごつごつした岩でできている山

瑛・・・すみきった玉の光。また、水晶など透明な美しい石

岩のように堅く、高い困難という壁が自らの道を閉ざしても、それらに負けず、困難すらも自らの成長の糧として取り込める資質を身につける。そして、山のように大きくて、瑛のような透き通るようなおおらかな心で、周囲に光をもたらし、援助することができる人物になってほしい。

そんな壮大で夢のある理想を掲げて、私たち社会福祉法人岳瑛は、「心を育てる」保育・教育を行っていきます。

#### 法人理念 「心を育てる」

乳幼児期に必要なことは目先の成長を得るための詰め込みではなく、人間が本来持っている知的好奇心や向上心を存分に刺激して、学ぶことが楽しい、学びたいと思うような「あとから伸びる力」を養うことです。銀の鈴こども園・鈴らん保育園では遊びの中で、この「あとから伸びる力」を身につけ「心を育てる」保育・教育を行っていきます。

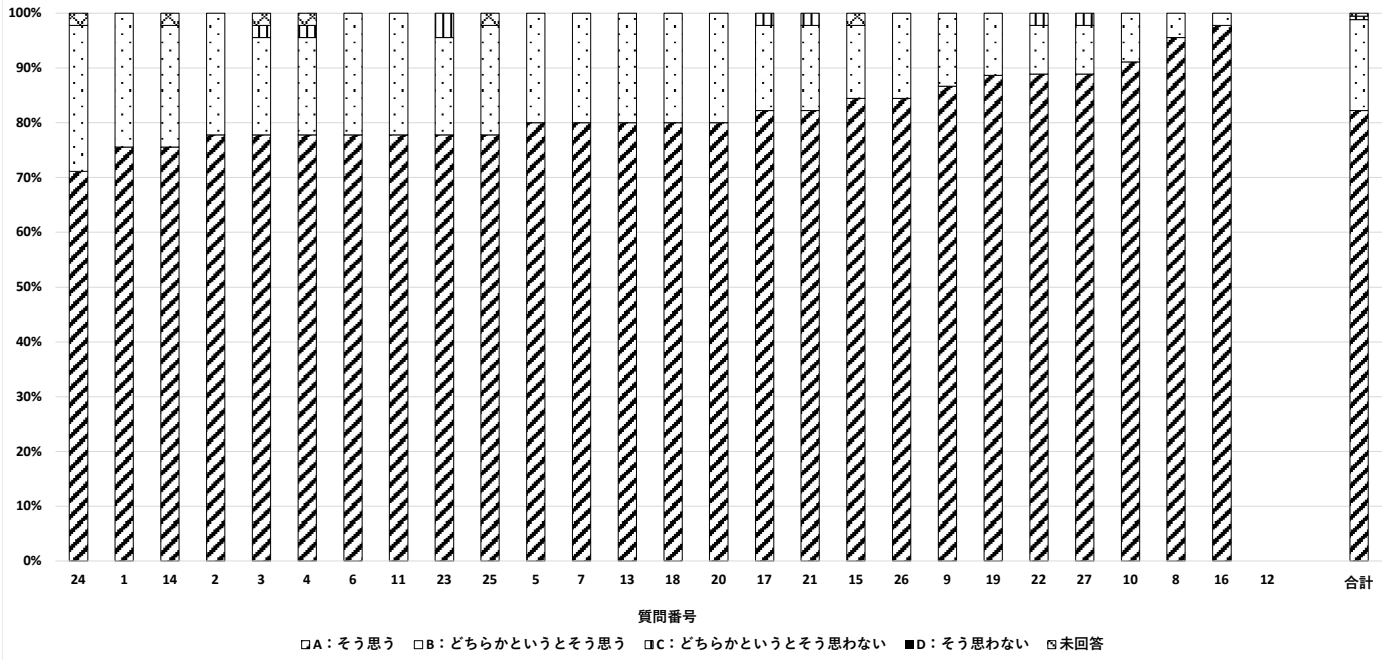
#### 保育・教育方針

- ・「あとから伸びる力」を身につける保育・教育
- ・「本物であること」を貫きます
- ・「手から手へ」保護者の方と共同で子どもたちの保育・教育を進めます
- ・「たのしい！」を第一に子どもたちの笑顔を大事にします

#### 目標 めざす子ども像

1. 明るく元気でのびのびとたくましい子ども
2. よく考えて自ら進んでする子ども
3. やさしくあたたかい心の子ども

令和02年度銀の鈴こども園施設関係者評価アンケート(60世帯)



質問番号

- 1 子どもは、喜んでこども園に通っている。
- 2 こども園は、理念や教育目標・方針・内容・活動について、よくわかるように情報を提供している。
- 3 こども園は、一人ひとりの子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助をしようと努めている。
- 4 こども園は、子どもの生命と権利を尊重しようと努めている。
- 5 こども園は、子どもの豊かな心と身体を大切にしようと努めている。
- 6 こども園は、子どもの基本的な生活習慣が身につくよう努めている。
- 7 こども園は、子どもの個性と仲間意識の心を大切にしようと努めている。
- 8 こども園は、人間性豊かな創造力を育てるための活動(和太鼓演奏・茶道など)を前向きに行っている。
- 9 こども園は、子どもの感動する心を大切にしようと努めている。
- 10 こども園は、最後までやりぬく実行力を育てようと努めている。
- 11 こども園は、子どもの意欲と思いやりの心を大切にしようと努めている。
- 12 こども園は、子どもの感動する心を大切にしようと努めている。
- 13 こども園は、人の役に立てる人格の形成「未来社会への貢献」を目指した指導に努めている。
- 14 こども園は、子どもたちがいろいろな物や自然・社会との触れ合いを通し、直接体験が多く持てるように努めている。
- 15 こども園は、幼稚園・小・中学校・高校・大学、また地域との連携を大切にしている。
- 16 様々な行事は、子どもたちの様子や成長がよく分かり、こども園の保育(教育)の意義(遊びの大切さなど)を知る機会となっている。
- 17 こども園内は、清掃等が行き届き、また保健衛生的な環境づくりに努めている。
- 18 こども園は、施設・設備を有効に活用するとともに、整備が行き届き、子どもたちが快適・安全に園生活を送れる環境となっている。
- 19 こども園は、安全・防犯管理に努め、また危機管理意識向上に努めている。
- 20 こども園では、ホームページなどで理念や教育目標・方針・内容・各種情報を公開することに積極的である。
- 21 こども園は、個人情報の保護に努めている。
- 22 園だより等の手紙の内容は理解できる。
- 23 保護者は、子どものことを園や保育教諭に相談しやすい。
- 24 こども園は、地域のこども園として、子育ての支援に努めている。
- 25 保育教諭は、子どもの心に寄り添って、“勇気づけの保育”を応援上手に展開している。
- 26 こども園は、担任だけでなく園全体で子どもの保育に取り組もうと努めている。
- 27 銀の鈴こども園に、子どもを入園させて良かったと思う。

28

## 園に対するご要望・ご意見

(ご要望・ご意見)

園生活の様子をみる事が無い為わからない部分は記入していません。すいません。私が無理を言ってお忙しいのは承知で担任の先生に毎週予定表を書いてもらっています。子どもと「明日は～だから頑張ろうね」とか会話が増えます。和太鼓の日なら髪が邪魔にならないように束ねようとか散歩があるなら上着を持たせようとかいろいろ親としての準備もでき、本当に助かっています。コロナでイベント、行事も中止になる事が多かったですし、普段の園での勉強姿や園庭で遊んでいるところ、お誕生日会、クリスマス会など、もっと動画に載せて頂きたいです。

(園から)

文面からお子さまとの微笑ましい会話が目に浮かびます。動画を配信しました。お子さまとご覧下さい。

(ご要望・ご意見)

15:30以降の過ぎし方を公開していく様に聞いていましたが、確認できていません。どこを見ればわかりますか？延長料金を1H200円→30分100円への変更希望。延長料金の明細があれば良いと思いました。

(園から)

動画を配信しました。ご覧下さい。また、お帰りの際に、職員から当日をどう過ごしたか、話をしていますので、お聞き下さい。

正規の時間で登降園して頂く事が基本ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(ご要望・ご意見)

いつもありがとうございますの一言です！！

とても、成長、育み、教育を感じています。”

(園から)

昨年に引き続き温かいお言葉、こちらこそありがとうございます。今後とも、一緒にお子さまの将来のために、協力していければと願っています。

(ご要望・ご意見)

いつもよくみていただき、助かっています。

(園から)

こちらこそ有難うございます。

(ご要望・ご意見)

いつもありがとうございます。

園長先生筆頭に、全職員さんの優しい対応・心遣いに助けられています。

これからもよろしく願います。”

(園から)

温かいお言葉、ありがとうございます。こちらこそ、これからも、よろしく願います。

(ご要望・ご意見)

今年コロナとゆう子供も親も不安な中、毎日こども園に行って無事に帰って来れている事に感謝しかありません。いつもありがとうございます。

(園から)

こちらこそ、ありがとうございます。コロナ禍で難しい状況が続いています。引き続き感染拡大防止に努めていきます。

(ご要望・ご意見)

いつもありがとうございます。

(園から)

こちらこそ、ありがとうございます。

(ご要望・ご意見)

いつもお世話になっております。コロナ感染対策など、ちゃんとしてくれているので素晴らしいと思います。休み明けの登園ではまだグズる事がありますが、先生方のサポートに助けられています。子供は園が楽しいみたいで、安心しています。これからもよろしく願います。

(園から)

こちらこそ、よろしく願います。引き続き感染拡大防止に努めていきます。

(ご要望・ご意見)

お世話になっています。入園したすぐは大泣きで、私も泣いている子ども達とバイバイするのが寂しい事もありましたが、今ではそれがうそみたいに慣れてからは泣くこともなく登園できていて園で先生方が楽しく過ごせるよう、がんばってくれているおかげです。

泣いたりせず、「行ってきます」ができて安心して預けられているのでとても感謝しています。

これからも宜しく願います。”

(園から)

こちらこそ、よろしく願います。これからもお子さまの成長をお手伝いできれば幸いです。

(ご要望・ご意見)

娘も先生方の事が大好きで、家でも園であった事をよく話してくれています。日頃から親子共々園の皆様方には大変感謝しております。以前に比べて少なくなりましたが、やはり朝に「今日園しまっている？」と聞いてきます。家の方で過ごしたいという甘えなのだと思います。年少からは団体行動もあるので難しいですが、ホープの間は自分に余裕のある時はつきあおうと思っています。

(園から)

是非ともお子さまと過ごす時間を大切にしてください。今しかありません。素晴らしい事です。今後も、成長のお手伝いをさせていただきます。

(ご要望・ご意見) は個人情報を除き原則原文のまま

申し上げるまでもなく、保育・教育活動はご家庭のご理解とご協力なくしては成り立ちません。銀の鈴こども園は68年の歴史の中で、一貫してご家庭・保護者の方のご理解ご協力をいただいてまいりました。支えていただいた、68年間だと、心より感謝しております。保育・教育を取り巻く環境は設立当初からはずいぶん変わりました。しかし、子どもたちが社会の宝であり、乳幼児期の保育・教育が大変重要である事は何ら変わっていません。

その中で、現在のコロナ禍です。この影響は計り知れません。私たち大人が成長する過程で、自然に身につけてきた事を、会得できない危惧もあります。「育ちに必要な事」と「感染拡大防止」の両立は厳しい側面もあります。子どもたちは、施設の中の集団生活でコミュニケーション能力を高め、人との距離感を学び、食事の大切さ・楽しさを実感し、集団の中で免疫力を向上させてきました。これらのいくつかは、「新しい生活様式」では、否定気味に語られています。私たち大人は、「以前」を知っているから、かまいません。がこれからそれらを会得する子どもたちの「育ち」はどうなるのでしょうか。

本園では最大限の感染防止対策をし、子どもたちの安全を考えます。その上で、失うべきでない、子どもたちの「育ち」を支援していきます。

さて、卒園後も長い教育が待っています。しばらくは教育現場で大きな制限がかかることは致し方ないことです。前述した、本来「育ち」の中で身につけるべき、コミュニケーション能力、人との距離感、食事の大切さ・楽しさ等を十分に学ぶことが出来ないかもしれません。コロナ禍を通じて、より一層家庭教育の重要性が増してきます。

一方、私たち銀の鈴こども園は、今まで通り、「あとから伸びる力を身につける」、「心を育てる」を基底に据えた保育・教育を行っていきます。今後とも変わらぬ、ご支援、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

## 報告 評価分析：成果と課題

合計の肯定的回答（A,B）が98.8%（昨年99.5%）であった。またA（そう思う）は82.2%（84.3%）である。法人理念や行っている保育・教育内容への理解が進んでいることに感謝している。

### 【成 果】

数字は質問番号

16様々な行事は、子どもたちの様子や成長がよく分かり、こども園の保育(教育)の意義〈遊びの大切さなど〉を知る機会となっている。(A評価97.8%, 昨年87.2%)

8 こども園は、人間性豊かな創造力を育てるための活動（和太鼓演奏・茶道など）を前向きに行っている。(A評価95.6%, 昨年100%)

10こども園は、最後までやりぬく実行力を育てようと努めている。(A評価91.1%, 昨年95.7%)

本園の理念である、「あとから伸びる力を育てる」「心を育てる」が、浸透し成果として表れている。

本年度は、コロナ禍で多くの制約があった。「育ち」と「感染防止」の狭間、矛盾への対応に追われた。幼児施設の感染防止には、自ずと限界があることを、理解して頂いたことに感謝している。今後も、最大限の感染防止に努めつつ、子ども達の育ちと命を守るための行動のバランスを考えながら運営していきたい。

コロナ禍の影響もあり、本年度から動画配信を行っている。概ね好評である。一方で職員の負担軽減も課題として浮上している。バランスよく継続していきたい。

### 【課 題】

1 子どもは、喜んでこども園に通っている。(A評価75.6%)

14こども園は、子どもたちがいろいろな物や自然・社会との触れ合いを通し、直接体験が多く持てるように努めている。(A評価75.6%)

これらの評価項目が、例年にくらべて低評価であったことを謙虚に受けとめたい。保護者の方々には本施設理念に共感し、共に子どもの育ちを支援する車の両輪だと考えている。理念を実現するために、子ども達が「達成感」を実体験出来れば、自ずと課題は克服できると考える。

### 【まとめ】

今回5回目となる、「施設関係者評価アンケート」であった。本園在住45世帯から回答を得る事が出来た。ご協力に感謝するとともに、園運営に対する関心の高さがうかがえる。浮かび上がった課題を真摯に受けとめ、今後の園運営に活かしていきたい。

また、肯定的意見を多く頂いた事は、職員一同今後の保育・教育によりいっそう前向きに取り組める勇気を与えてくれた。感謝の念にたえない。

今後のスケジュール：コロナウィルス感染症感染拡大防止のためこれを最終報告とする。結果はHPにて公表します。